

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】特開 2006-13750 (P2006-13750A)  
 【公開日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-002  
 【出願番号】特願 2004-185977 (P2004-185977)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 N      5/92      (2006.01)**

**H 0 4 N      7/26      (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N      5/92      H

H 0 4 N      7/13      Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 19 日 (2007.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力映像情報のレベルレンジを所定レベルレンジに変換するレベルレンジ変換ステップと、

当該レベルレンジ変換ステップによりレベルレンジを変換された映像情報を符号化する符号化ステップと、

当該符号化ステップで符号化された映像情報に当該所定レベルレンジを示す識別情報を付加する識別情報付加ステップ

とを具備することを特徴とする映像処理方法。

【請求項 2】

当該入力映像情報にそのレベルレンジを示す識別情報が付加されており、

当該レベルレンジ変換ステップは、当該識別情報を検出するステップと、検出された当該識別情報に従い、入力映像情報のレベルレンジを所定レベルレンジに変換するステップとを具備する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の映像処理方法。

【請求項 3】

当該識別情報が、白レベルを示す情報と黒レベルを示す情報又は静止画か動画かを示す情報とを具備することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の映像処理方法。

【請求項 4】

入力映像情報のレベルレンジを所定レベルレンジに変換するレベルレンジ変換ステップと、

当該レベルレンジ変換ステップによりレベルレンジを変換された映像情報に、当該所定レベルレンジを示す識別情報を付加する識別情報付加ステップ

とを具備することを特徴とする映像処理方法。

【請求項 5】

当該入力映像情報にそのレベルレンジを示す識別情報が付加されており、

当該レベルレンジ変換ステップは、当該識別情報を検出するステップと、検出された当該識別情報に従い、入力映像情報のレベルレンジを所定レベルレンジに変換するステップ

とを具備する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の映像処理方法。

【請求項 6】

当該識別情報が、白レベルを示す情報と黒レベルを示す情報又は静止画か動画かを示す情報とを具備することを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の映像処理方法。

【請求項 7】

入力映像情報のレベルレンジを所定レベルレンジに変換するレベルレンジ変換手段と、  
当該レベルレンジ変換手段によりレベルレンジを変換された映像情報を符号化する符号化手段と、

当該符号化手段で符号化された映像情報に当該所定レベルレンジを示す識別情報を付加する識別情報付加手段

とを具備することを特徴とする映像処理装置。

【請求項 8】

当該入力映像情報にそのレベルレンジを示す識別情報が付加されており、

当該レベルレンジ変換手段は、当該識別情報を検出する手段と、検出された当該識別情報に従い、入力映像情報のレベルレンジを所定レベルレンジに変換する手段とを具備することを特徴とする請求項 7 に記載の映像処理装置。

【請求項 9】

当該識別情報が、白レベルを示す情報と黒レベルを示す情報又は静止画か動画かを示す情報とを具備することを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の映像処理装置。

【請求項 10】

入力映像情報のレベルレンジを所定レベルレンジに変換するレベルレンジ変換手段と、  
当該レベルレンジ変換手段によりレベルレンジを変換された映像情報に、当該所定レベルレンジを示す識別情報を付加する識別情報付加手段

とを具備することを特徴とする映像処理装置。

【請求項 11】

当該入力映像情報にそのレベルレンジを示す識別情報が付加されており、

当該レベルレンジ変換手段は、当該識別情報を検出する手段と、検出された当該識別情報に従い、入力映像情報のレベルレンジを所定レベルレンジに変換する手段とを具備することを特徴とする請求項 10 に記載の映像処理装置。

【請求項 12】

当該識別情報が、白レベルを示す情報と黒レベルを示す情報又は静止画か動画かを示す情報とを具備することを特徴とする請求項 10 又は 11 に記載の映像処理装置。

【請求項 13】

入力映像情報のレベルレンジを第 1 の所定レベルレンジに変換する第 1 のレベルレンジ変換ステップと、

当該レベルレンジ変換ステップによりレベルレンジを変換された映像情報を符号化する符号化ステップと、

当該符号化ステップで符号化された映像情報に当該第 1 の所定レベルレンジを示す識別情報を付加する第 1 の識別情報付加ステップと、

当該符号化ステップで符号化された映像情報と、当該第 1 の所定レベルレンジを示す識別情報とを記録媒体に記録する記録ステップと、

当該記録媒体から符号化された映像情報、及びこれに付加された識別情報を再生する再生ステップと、

当該符号化された映像情報を復号化する復号化ステップと、

当該復号化ステップで復号化された映像情報のレベルレンジを第 2 の所定レベルレンジに変換する第 2 のレベルレンジ変換ステップと、

当該第 2 のレベルレンジ変換ステップによりレベルレンジを変換された映像情報に、当該第 2 の所定レベルレンジを示す識別情報を付加する第 2 の識別情報付加ステップ

とを具備することを特徴とする映像処理方法。

## 【請求項 14】

当該入力映像情報にそのレベルレンジを示す識別情報が付加されており、

当該第 1 のレベルレンジ変換ステップは、当該識別情報を検出するステップと、検出された当該識別情報に従い、当該入力映像情報のレベルレンジを当該第 1 の所定レベルレンジに変換するステップとを具備する

ことを特徴とする請求項 13 に記載の映像処理方法。

## 【請求項 15】

当該第 2 のレベルレンジ変換ステップは、当該記録媒体から再生された識別情報に従い、当該復号化ステップで復号化された映像情報のレベルレンジを第 2 の所定レベルレンジに変換することを特徴とする請求項 13 又は 14 に記載の映像処理方法。

## 【請求項 16】

当該識別情報が、白レベルを示す情報と黒レベルを示す情報又は静止画か動画かを示す情報とを具備することを特徴とする請求項 13 乃至 15 の何れか 1 項に記載の映像処理方法。

## 【請求項 17】

入力映像情報のレベルレンジを第 1 の所定レベルレンジに変換する第 1 のレベルレンジ変換手段と、

当該レベルレンジ変換手段によりレベルレンジを変換された映像情報を符号化する符号化手段と、

当該符号化手段で符号化された映像情報に当該第 1 の所定レベルレンジを示す識別情報を付加する第 1 の識別情報付加手段と、

当該符号化手段で符号化された映像情報と、当該第 1 の所定レベルレンジを示す識別情報とを記録媒体に記録する記録手段と、

当該記録媒体から符号化された映像情報、及びこれに付加された識別情報を再生する再生手段と、

当該符号化された映像情報を復号化する復号化手段と、

当該復号化手段で復号化された映像情報のレベルレンジを第 2 の所定レベルレンジに変換する第 2 のレベルレンジ変換手段と、

当該第 2 のレベルレンジ変換手段によりレベルレンジを変換された映像情報に、当該第 2 の所定レベルレンジを示す識別情報を付加する第 2 の識別情報付加手段

とを具備することを特徴とする映像処理装置。

## 【請求項 18】

当該入力映像情報にそのレベルレンジを示す識別情報が付加されており、

当該第 1 のレベルレンジ変換手段は、当該識別情報を検出する手段と、検出された当該識別情報に従い、当該入力映像情報のレベルレンジを当該第 1 の所定レベルレンジに変換する手段とを具備する

ことを特徴とする請求項 17 に記載の映像処理装置。

## 【請求項 19】

当該第 2 のレベルレンジ変換手段は、当該記録メディアから再生された識別情報に従い、当該復号化手段で復号化された映像情報のレベルレンジを第 2 の所定レベルレンジに変換することを特徴とする請求項 17 又は 18 に記載の映像処理装置。

## 【請求項 20】

当該識別情報が、白レベルを示す情報と黒レベルを示す情報又は静止画か動画かを示す情報とを具備することを特徴とする請求項 17 乃至 19 の何れか 1 項に記載の映像処理装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 2 5 】

図 3 は、以上の一連のレベルレンジの推移を示す。この例では、入力レベルレンジが  $ID = 1$  の  $min = 10$ 、 $max = 240$  で、 $ID$  判断変換部 102 は、 $ID = 0$  の  $min = 0$ 、 $max = 255$  にレベルレンジを変換する。図 4 ( a ) にその変換特性の一例を示す。 $ID$  判断変換部 102 は、入力値 10 から 240 を、0 から 255 に変換して出力する。この変換処理は、ルックアップテーブルで実現しても、数値演算で実現しても良い。その後、符号化器 103 による符号化、メディア記録部 105、記録メディア 106 及びメディア再生部 107 による記録再生、並びに、復号化器 108 による復号化を最適なダイナミックレンジで実行する。 $ID$  判断変換部 109 は、再生ビデオ信号のレベルレンジを、表示器 111 のレベルレンジ  $ID = 2$  の  $min = 15$ 、 $max = 250$  に変換する。図 4 ( b ) は、 $ID$  判断変換部 109 の変換特性の一例を示す。 $ID$  判断変換部 109 は、入力値 0 から 255 を 15 から 250 に変換して出力する。この変換処理は、ルックアップテーブルで実現しても、数値演算で実現しても良い。